



Associação Crianças de LUZ

CANOA

だより74 August 2024

文・写真_鈴木真由美 編集_星久美子・真野由紀 発行_光の子どもたちの会
Praia do Estevão s/n, Canoa Quebrada, Aracati-CE-Brasil CEP:62800-000
連絡先: info@criancasdeluz.org

いつもならば7月にお届けしているCANOAだよりですが、今回は1ヶ月遅れてのお届けとなってしまいました。学校の夏休みを利用して、二女は夏休みをブラジルで過ごすべく、1人で旅立ちました。我が家の家族も4人で過ごすことが難しくなっていますが、日本とブラジルという2つの国で過ごす日々をそれぞれのライフスタイルとして取り入れながら、歩んでいきたいと考えています。

多文化共生といわれている時代、私たちは国籍や民族、宗教などではなく、それぞれが一個人として、自分の生き方を大切にしながら、様々な人との出会いを楽しみ、共に生活していくことを考え、歩んでいくことができたかと願っています。

ブラジル、カノア保育園及び学童教室では、現地のスタッフが慣れない事務仕事をこなしながら、2024年をスタートしました。エヴァさんやカノア保育園卒園児である、ヴィヴィアーニとイザベルに支えられながら、一つ一つ取り組んでいます。

私自身、「分からないことは聞く！」という精神のもと、毎日のように市役所や行政機関に足を運び、書類をそろえ、分からないところは一緒に作成しながら今までやってきました。年々変わりゆく行政スタイルや法律を学びながら、多くの人に助けられてきたと実感しています。そんな中、現地スタッフは「私たちは知らないから」と、一言。私たちは何でも知っていたわけではない。地域住民や行政、多くの人たちに助けをもらい、支えてもらいながらここまで来たということを、まだ実感できていないようです。大変なこともたくさんあります。知らないこともたくさんあります。それでも、カノア保育園や学童教室を続けていきたいと強い思いを抱えている彼女たちを、日々支えていくために、オンラインでの格闘は続いています。

まだまだ始まったばかり。彼女たちの歩みを支えるべく、私たちも引き続き取り組んでいきたいと考えています。

カノア保育園 の先生紹介

Colay Santos (コライ)



エステーヴァン村を知るための散策は、みんなでアイデアを出し合って生まれました。もともと毎週金曜日は「自由な日」として、子ども達と一緒に森へ海へと出かけていました。子ども達は楽しみながら、自分たちの住んでいる村を再発見しています。散策ツアーをするにあたり、私たちは観光客のみならず、住民も招待し、一緒にツアーを行おうと声を掛けました。

散策ツアーでは、エステーヴァン村の歴史についても触れます。今、子ども達は、散策ツアーに参加している人たちに対し、自ら大切な場所を紹介しています。この散策ツアーは子ども達や地域住民との交流のみならず、参加費をもらうことで、運営費の一部として役立てられています。

先日、散策ツアーに参加したいと言ってくれた、セアラ州立大学(UECE (Universidade estadual do Ceará))の人たちは、「散策ツアー」の広報の手伝いもしてくれました。散策ツアーに参加してくれる人たちはいつも、何らかの形で、私たちの活動を応援してくれます。村を訪れた人たちが、子ども達と一緒に散策することで、エステーヴァン村のことや、森、保護地域のことを知るだけでなく、同時に私たちの活動を知ってもらう機会ともなっているのです。

最近のカノア

冒頭にも書きましたが、少しずつ活動の運営を現地法人に委ねているのですが、書類などに関してはかなり難しい状況が続いています。それでも、自分たちができることを！ということで、最近では毎週金曜日にカノア保育園や学童教室で行っている散策の日に、外部の人が参加できるようにし、エステーヴァン村を知ってもらおう！という取り組みを行っています。

毎週金曜日、14:30事前の話など（室内）、15:30～散策開始

参加費は1人15レアル。

エステーヴァン村のことを子どもだけでなく、多くの人に知ってもらいたい。そして、私たちの活動を支えてくれる人たちを増やしたい。そんな思いからスタートしました。

先生たちだけでなく、子ども達も村自慢をしているこの散策ツアー。

カノア保育園及び学童教室を訪れる予定のある方は、ぜひ金曜日の散策ツアーに参加してみてください。

●日本人ボランティアがカノアへ！

2024年8月、上智大学の学生1名がボランティアとして、3週間ほどカノアに滞在します。先日オンラインで現地スタッフとの顔合わせを行いました。どのような活動をするのか。現地の様子は？ 次号では「ボランティア滞在記」を掲載しますので、お楽しみに！

●HPが新しくなりました！

私たちのHPは、PC版だけでなく、スマホに対応していなかったということもあり、アクセスしやすく、見やすい。そして、知りたい情報を得やすいものにと、検討を重ね、この度、新しくなりました！

まだポルトガル語版ができていなかったりと、未完成ではあるのですが、ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。





光の子どもたちの会

わたしたちの活動 協力・支援団体 メディア情報 動画 運営団体



わたしたちは「光の子どもたちの会」です。

「光の子どもたちの会」
で検索！



子育て日記より

長女は大学2年生。先日20歳になりました。早いものです。日本とブラジルという2つの国で暮らしながら、自分というアイデンティティーを崩すことなく成長してきた娘。周囲の人たちに恵まれ、環境に恵まれ、すくすくと育ってきました。春休みを利用して、約4年ぶりにブラジルに帰ると、祖父母からの溺愛は今まで以上で、美味しいものをたらふく食べて日本に戻ってきました。20歳になり、子どもではないその目線で見えたカノアの町は、少し違っていたようです。良いところ、悪いところ、どんなところにもあるけれど、それを自分事として捉え、自分のできることをと探している娘の背中を見つめている今日この頃です。

国内活動＊Atividade no Japão

●新！ブラジル料理教室

私たちは、日本で行う定期的なイベントの一つとして、年3～4回ほど、「ブラジル料理教室」を開催してきました。今まではブラジル人講師平塚えれな先生の全面協力を得て実施されていたのですが、残念ながら他国に移住されるということで、講師を退任されることとなりました。そこで、今までは本格的なブラジル料理を学べる場として、料理好き、ブラジル好きの方を中心に参加していただいていたのですが、ブラジル料理を通じて、もっと手軽に、ブラジルを知ってもらえる場としていきたいとスタッフとも話し合いを続けました。そんなとき、「NPO法人霧が丘ぷらっとふぉーむ」の皆さまとご縁ができ、kiricafeをお借りして、共同開催という形でまずは実施してみよう！ということで、2024年6月23日（日）に、「ブラジルってどんなところ？」と題して、ポンデケージョを作りながら、Festa Juninaをご紹介しますイベントを開催しました。

当日は赤ちゃんから大人まで、総勢20名が参加してくださり、子ども達が楽しそうに作る姿はとても微笑ましかったです。



横浜市の霧が丘という、インドの町と知られている場所で、なぜブラジルなのか？そんな話を重ねる中で、これからの日本には様々な国の人々が共に暮らす場所となっていく。インドの人が多い場所にもインドネシアの方が増えてきているように、外国につながる人たちとの暮らしが当たり前となっていく世の中、私たちもいろいろな国のことを知っていこう！と、立ち上がりました。私たちはブラジルとのつながりを生かしながら、様々な団体とのネットワークをつなげていく中で、一緒に活動していくことが増えていくことでしょう。そんな思いを胸に、これから活動していきたいと考えています。

●イベント情報

～ 多文化共生に関わる、全ての方に伝えたい ～

「ブラジルでの多文化保育の中で見えた これからの日本の多文化社会に必要な事」

「日本の子ども達の生きづらさを何とかしたい」との思いから単身21歳でブラジルに渡り、現地で保育園をつくり、つくった後も暫く定住。現在、その経験を活かすべく日本で保育士をしながらNPO法人での子育て活動を行う鈴木真由美さんと「多文化共生」のヒントを探ります！

日時：2024年9月8日（日）15:00 - 17:00

場所：ぷらっとkiricafe

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘3丁目26-1 205

参加費：500円（コーヒーもしくはジュース付）

講師：鈴木真由美（保育士、NPO法人光の子どもたちの会代表）

< 内容 >

1 講演

2 みんなで対話しながら多文化共生をかんがえてみよう！

※当日14:00～15:00の子どもの日本語教室を見学可

※終了後希望者での懇親会あり

共催：NPO法人光の子どもたちの会

霧が丘ぷらっとほーむKIC国際交流部門

ぜひご参加ください！



●「SDGs多文化CITYフォーラム2024」で報告しました！

2024年2月17日、帆船日本丸・横浜みなと博物館にて「SDGs多文化CITYフォーラム2024」が行われ、「光の子どもたちの会」のプロジェクト報告会に、所用で急遽来られなくなった代表・鈴木真由美さんに変わり、ピンチヒッターとして私、川原翼が駆けつけました。

私は10分間の団体紹介を担当。真由美さんの団体紹介は、何十回と見てきているので、自分なりにアレンジして話せました。

このプロジェクトというのが、鈴木真由美さんの次女である真琳（まりん）さんが高校のプロジェクトとして立ち上げたというもの。

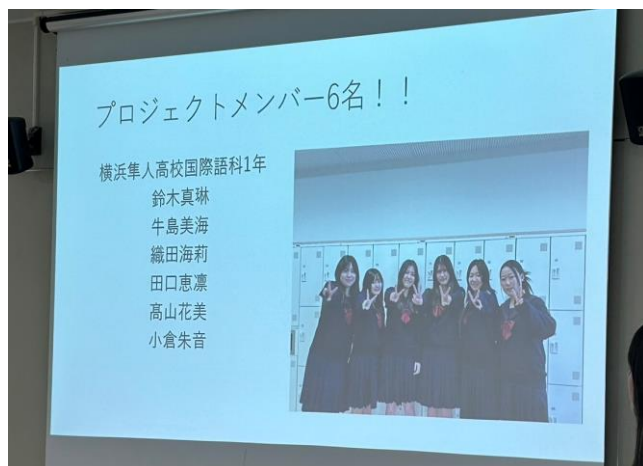
SDGsの14項目「海の豊かさを守る」を達成するために、ブラジル現地の高校生と日本の高校生が交流しながら、最終的にはジャンガーダ（現地の伝統的な帆船）の帆に両国の高校生が同じテーマで描いた絵が描かれるらしいのです。

それにしても、真琳さんのプレゼンはピカイチで素晴らしかったです。この「カノアだより」を長らく読んでおられる読者の方は、真由美さんが書く「子育て日記」のコラムで、彼女の成長のストーリーも見てこられたと思いますが、真琳さんの持つ持ち前のユーモアと、エステーヴァン村に実際に住んでいた彼女だからこそ語られるストーリーに惹きつけられました。それをちゃんと自分の言葉として語れていました。

長女の美莉亜（みりあ）さんも、次女の真琳さんも、二人とも産まれたときからお母さんに連れられ、日本とブラジルを行ったり来たりのダブル生活。きっと本人たちにしか分からない大変なことはたくさんあったことと思いますが、お母さんの背中を見て、言語だけではなく、国際的な感覚を身につけていると感じました。

幼少期の多言語経験や、多文化経験はたしかに彼女たちに他では決して得ることのできない価値観や感性を与えているように思います。きっと彼女たちみたいな人たちが、新しい時代を切り拓いていくんだろうなと心強く感じます。

若いプロジェクトをこれからも全力で応援したいです。



●横浜隼人高校の文化祭でJANGADA？

横浜隼人高校国際語科2年と一緒に取り組んでいる国際交流プロジェクト。JANGADA（帆船）の帆に日本とブラジル子ども達と一緒に絵を描きます。エスターヴァン村の子ども達が描いた帆に、皆さんも一緒に絵を描いてみませんか？

横浜隼人高校文化祭の日、一緒に描いてもらおうと、今準備を進めているところです。高校生が進めているプロジェクト。どのようなになるのか、ぜひ楽しみにしてください。

※絵を描ける日時及び場所に関しては、後日当団体のInstagram及びFacebook等で発信予定です。

※完成品は、【横浜隼人高校文化祭：隼輝祭】日時：2024/9/28（土）に掲示される予定です。

●秦野市教育委員会の教員2名がブラジルへ！ ～JICA草の根技術協力事業

2022年12月より開始された、「JICA草の根技術協力事業」。今回の事業ではまず、本邦研修として、2023年5月17日～6月1日まで（日本滞在は5月19日～30日まで）、ブラジル国セアラ州アラカチ市の教員であるアルテミージアさん（アラカチ市教育局教育部長）、ニウデーニさん（アラカチ市教育局研修担当）の2名が、神奈川県秦野市における研修に参加しました。

そして今回、2024年1月28日～2月8日まで、神奈川県秦野市教育委員会から市川潤一先生（秦野市教育研究所所長）と安藤淳先生（指導主事）の2名が、ブラジル国セアラ州アラカチ市にて学校教育専門家として活動されました。

今回は事業を視察、評価していただくことだけではなく、アラカチ市でも力を入れ始めているICT教育についての学び合いや秦野市で実践している「学びの基盤プロジェクト」という、非認知能力を育てることで、学習意欲が高まり、学力が向上していくという取り組みをアラカチ市内のすべての公立学校に対して講演していただきました。私たちの事業の根本である、「ライフスキル教育」を社会情緒（Social Emotion Learning）としてアラカチ市では2023年度よりカリキュラムに取り入れました。非認知能力に目を向けていくことが、今後の学校教育においては有意義であるということ、日本とブラジル、異なる2つの国ではありますが、同じような気持ちで取り組んでいるのだということを再確認することができました。

私たちの事業に関して、JICAブラジルがまとめた記事（ポルトガル語）が掲載されましたので、ぜひご覧ください！！

「Conheça o Projeto Comunitário da JICA: Projeto de aprimoramento de fortalecimento organizacional para LST (Life Skill Training) - Treinamento de Competências para Vida.」



●秦野市北小学校×E.E.T.I. Darcy Ribeiro国際交流スタート！

JICA草の根技術協力事業で昨年ブラジルから2名の教員が日本に研修に来ました。その時に受け入れてくれていた秦野市北小学校とのご縁をぜひ、このままでは終わらせたくない！というブラジル側の強い希望もあり、国際交流が実現されることになりました。

まずは秦野市北小学校の子ども達が日本の「鬼ごっこ」の紹介動画をブラジルの子ども達に送ってくれることになりました。6月に実施された鬼ごっこ。どのような映像となっているのでしょうか。私は8月にブラジルに行くことになっているので、その際にこの動画を届ける予定です。そして、ブラジルからも鬼ごっこのような遊びの紹介動画を送ってくれることになっています。子ども達がどのような反応を見せるのか。今から楽しみです！

そしてこの国際交流はこれでは終わりません。実は日本とブラジル、2つの国の子ども達が交互に描いて、物語を完成させる…というプロジェクトも進行予定です。乞うご期待です！

活動予算書

2023年1月1日から2023年12月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 光の子どもの会

活動計算書

2023年1月1日～2023年12月31日まで

科目		金額	金額		(単位:円)
I 経常収益					
1. 受取会費					
正会員受取会費	250000		130,000		
2. 受取寄附金					
受取寄附金	1700000		2,464,404		
受取助成金等	1000000		0		
かながわ民際協力基金			0		
4. 事業収益					
イベント収益	100000		2,464,404		
物品販売	100000				
JICA草の根技術協力事業	2634000		500,000		
5. その他収益					
受取利息	10				
経常収益計		5784010			
II 経常費用					
1. 事業費					
(1) 人件費					
給料手当	0				
人件費計	0				
(2) その他経費					
教育支援事業	700000				
保育園及び学童教室支援事業	798600				
多文化共生事業(かながわ民際協力)	4737000				
国際協力に関連する教育分野の普及	30000				
原稿・講師謝礼	5000				
会場費	5000				
雑費	5000				
国際交流事業(事業報告会等の実施)					
会場費	5000				
雑費	5000				
国際協力事業(物品販売)					
会場費	5000				
雑費	5000				
支援寄付金	10000				
その他経費計	6305600		7,830,957		
事業費計					
2. 管理費					
(1) 人件費					
人件費計	0				
(2) その他経費					
雑費	100000				
その他経費計	100000		67,340		
管理費計					
経常費用計		100000			
当期正味財産増減額					7,898,297
前期繰越正味財産額					617,117
次期繰越正味財産額					1,313,392

ありがとうございます＊Obrigado

2023年12月7日～2024年7月25日現在までに会費及び寄付を頂きました皆さま及び物資支援を頂きました皆さまのお名前を下記に記載いたしました。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

「#今できること」として、現地では「AMIGO DE CRIANÇAS DE LUZ」というキャンペーンを立ち上げ、ブラジル国内のみならず、ドイツを含めた国外に対して、1人でも多くの皆様にカノア保育園及び学童教室を支えて頂けるように努めています。

引き続きご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

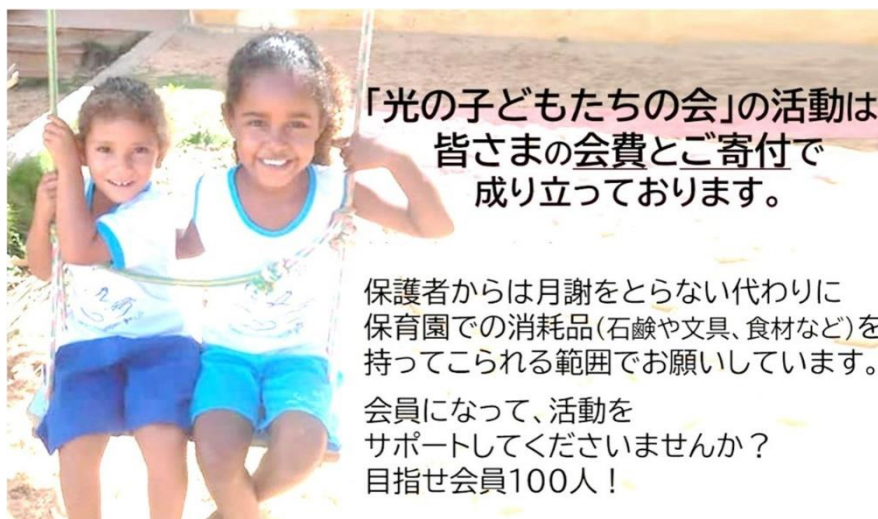
目標会員100名！！

会費及び寄付を頂きました皆様(順不同)

安見清さま、安見道子さま、石田泰三さま、石田まどかさま、人間カイさま、鶴沢聡明さま、太田朋子さま、定森徹さま、関塚翼さま、富本潤子さま、馬場悠男さま、堀池ミツ子さま、吉田可南子さま

物資支援を頂きました皆様(順不同)

保育室 プリンプリンROOM



<https://criancasdeluz.stores.jp/>

くわしくは
こちら！



年会費(5,000円)・ご寄付のお振込み方法

1. 自動引き落とし

お持ちの口座の金融機関で手続きができます。引き落とし日、金額をご指定いただけます。尚、ゆうちょ銀行からお振込の場合は以下の【2. 郵便振替】と同じ口座番号ですが、他金機関からの振込の場合には、【3. ゆうちょ銀行振込】の口座番号となりますのでご確認ください。

2. 郵便振替

口座番号 00280-1-41787

加入者 光の子どもたち・カノアの活動を支える会

3. ゆうちょ銀行振込

名義 光の子どもたちの会 店名 ○二八(ゼロニハチ)

店番号 928 普通 口座番号 5552594



<https://criancasdeluz.org/donation/>

問い合わせ先:

代表 鈴木真由美 / 日本事務局 藤田枝美

〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田町5338-23

FAX 045-594-5830 info@criancasdeluz.org